

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成24年09月28日)

事業コード	H24-建-継-9		区 分	○ 国庫補助 ● 県単独
事業名	高速交通関連道路整備事業費		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	1次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(主) 琴丘上小阿仁線		担当課長名	阿部 喜巳
箇所名	三種町上岩川		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通の整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H14 ~ H27 (14年)	総事業費	25.0億円	国庫補助率	—	
事業規模	延長 L=5,700m、幅員 W=6.0(11.0) (1.25-3.0-3.0-1.25-2.5)					
事業の立案に至る背景	○当該路線は旧琴丘町の国道7号を起点とし、上小阿仁村の国道285号を結ぶ幹線道路であり、日本海沿岸東北自動車道の琴丘森岳ICにアクセスする重要な路線である。しかし、当該区間は幅員狭小(Wmin=5m)で急カーブ(Rmin=30m)が連続し、円滑な交通を確保できていない状況である。このため、高速道路へのアクセス道路としての機能を早急に確保するものである。					
事業目的	○道路防災対策・危機管理の充実(第3次緊急輸送道路) ○交通の隘路区間(幅員狭小、線形不良)の解消 ○高速ICへのアクセス機能強化(琴丘森岳IC) ○地域住民、道路利用者への安全確保					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	2,500,000	2,500,000	0		
	経費内訳	工事費	2,024,000	2,024,000	0	
		用補費	189,000	189,000	0	
		その他	287,000	287,000	0	
	財源内訳	国庫補助	0	0	0	
		県債	2,374,000	2,250,000	-124,000	
その他		0	0	0		
一般財源	126,000	250,000	124,000			
事業内容	調査・設計、改良工、舗装工、橋梁工	調査・設計、改良工、舗装工、橋梁工			国の制度改正により、地方債充当率が変更となった。	
事業の進捗状況	○用地買収(進捗率94%)及び改良工事を進めている。 ○事業進捗率は85%(平成23年度末) ○整備区間内の3,720mは平成23年11月までに供用済み。					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○ふるさと秋田元気創造プラン「農林水産業を支える基盤整備」を支援する事業					
情勢の変化及び長期継続の理由	○H18.3.20 旧琴丘町が周辺市町村と合併して三種町となった。 ○H14.9.28 琴丘森岳ICの供用開始。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	高速ICへのアクセス機能の強化				
	指標式	最寄りICまでのおおむね30分以内の旧市町村数				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	66 自治体	データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	66 自治体				
達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	平成24年4月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○当該区間は幅員狭小(車道幅員5m)及び線形不良(最小曲線半径30m)で、冬期堆雪幅が無く、1年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間にもかかわらず歩道が無い。	10点
緊 急 性	○ふるさと秋田元気創造プラン「農林水産業を支える基盤整備」に位置づけあり。	10点
有 効 性	○第3次緊急輸送道路であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画上重要な幹線道路である。 ○日本海沿岸東北自動車道(琴丘森岳IC)へのアクセス道路として活用が見込まれる。	26点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.1であり効率性は高い。 ・総便益の現在価値 34億円 ・総費用の現在価値 32億円	18点
熟 度	○用地買収の進捗率は94%で概ね完了している。 ○整備区間の内3,720mは既に供用しており、整備効果の一部は発現している。	20点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 事業箇所としての優先度は高く、事業は引き続き実施すべきである。	84点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H24-建-継-9)

適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

箇所名 (三種町上岩川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	8	8	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	5		
		1箇所	3		
		0箇所	0		
		0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	2	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
		4件該当	6		
		3件該当	5		
		2件該当	4		
1件該当		2			
該当項目なし	0				
計		15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	
		なし	0		
		なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5	
		位置づけなし	0		
特有の課題の有無	あり	5	0	0	
	なし	0			
計		15	10		
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	6	
		第2次輸送路	8		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に	あり	10	10	
		なし	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
必要性が低い	3				
計		30	26		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	
		1,000台/日以上5,000台/未満	3		
		1,000台/日未満	0		
コスト削減	あり	5	5		
	なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計		20	18		
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	10	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
未着手		0			
計		20	20		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		